

平成29年に新たに発生が確認された病害虫(\*)、今後の発生に注意を要する病害虫等

農作物名	病害虫名	発生地域	発生確認年月	発生・被害の概要等
西洋なし	ハモグリダニ類 [フシダニ科] (局所発生)	南部町 沖田面	平成29年 5月	西洋なしの葉に火ぶくれ症状が見つかった。火ぶくれ症状の葉と凸凹となった幼果を採取し、りんご研究所県南果樹部において、「ハモグリダニ類の幼虫」を確認した。一般栽培園地での発生は初確認であるが、周辺園地での発生は確認されていない。その後の追跡調査において発生樹の新葉への進展もなく終息した。 次年度、再発生した場合には関与種の同定を行う。 (りんご研究所県南果樹部、病害虫防除所)
にんにく	ヒトリガ (局所発生)	つがる市 木造	平成29年 6月	にんにく畑全面で下葉を中心に食害されていた。ヒトリガの終齢幼虫主体の食害であるが、スジモンヒトリの幼虫も混発していた。隣接する防風林、道路等いたる所でヒトリガ幼虫が歩行している様子が観察されている。 (農林総合研究所)
いちご	コウモリガ (局所発生)	黒石市砂森	平成29年 7月	被害株は、クラウン内部がコウモリガ幼虫に食害されて枯死していた。平成28年に引き続き、今年度も被害を確認した。 (農林総合研究所)
すもも	モモノゴマダラ ノメイガ* (局所発生)	五戸町	平成29年 8月	所内の薬剤試験圃場のすももで幼虫被害果を発見、羽化成虫からモモノゴマダラノメイガと判断した。なお、平成26年にはももでの被害果を確認している。 (りんご研究所県南果樹部)
ごぼう	黒条病 (病原菌初確認)	上北地域	平成29年 8～9月	降雨、曇天、低温が継続した8月中旬、ごぼうほ場の全体の葉が枯れ、萎れ、葉柄が折れる症状が上北地域を中心に多発した。葉脈や葉柄に黒褐色ですじ状の病斑が認められ、病斑部から黒条病菌が分離された。 (野菜研究所)
大豆	ダイズクキタマ バエ (特異発生)	弘前市 大鱒町 つがる市	平成29年 9月	大豆圃場の全面で激しい葉の枯れ、茎の褐変症状が見られ、茎内に最大で200頭近いウジの寄生を確認した。 (農林総合研究所)
キク	キク黄化えそウ イルス：CSNV (発生拡大)	中南地域	平成29年10月	品種「エトルスコ」「スコッチ」の葉および茎にえそ症状が認められた。RT-PCRによる検定の結果、病原はCSNVと診断した。 (農林総合研究所)